

報道関係者 各位

令和4年11月11日



一般社団法人 日本介護福祉経営人材教育協会

## **第7回「介護福祉のみらい」作文コンクール 最優秀賞は 大家結衣さん（東京都・高校2年）・砂川琉聖さん（沖縄県・中学1年）**

一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会（代表理事＝多田 宏）は、このほど、第7回「介護福祉のみらい」作文コンクールを実施いたしました。将来を担う中学生、高校生に、介護や福祉の大切さを知り、未来について考え発表する機会をもってもらうことを目的に、令和4年6月1日から9月12日にかけて作品を募集しました。

全国より応募総数 506 編の作品が寄せられ、黒澤貞夫審査委員長（日本生活支援学会会長／浦和大学名誉教授）のもと、厳正な審査を行った結果、別紙のとおり入選作品が選出されましたので発表いたします。

受賞者には本会より賞状を贈呈いたします。

### **黒澤貞夫 審査委員長のことば**

この度は、全国各地の中学生、高校生の皆さんから沢山の作品をお寄せいただきましたこと、本当に感謝しております。

日本の未来を担う皆さんの真摯なお気持ちを作品から感じ取ることができ、とても嬉しく思いました。

今回の入選作品は特にバランスに優れ、整った文章であると審査員一同で評価した作品です。しかし、入選されなかった方々の作品も素晴らしい内容のものばかりであり、すべての皆さんに賞を差し上げたいという気持ちでいっぱいです。

応募作品の特色として、自分の体験を素直に書いている作品が多かった点が挙げられます。そして体験の内容については大きく分けて二つありました。一つは学校で学んだことを実際の体験でどう活かしていきたいかについて書かれた作品。もう一つは家庭の思い出や実習施設でのこと、新聞などを読んで学んだことなどを取り入れている作品です。

学校の知識だけでは十分ではありません。しかし、ただ実践するだけでも不十分です。その両者がうまく組み合ってこそ、一つの人間の社会の幸せというものが成り立ちます。

その意味では、今回皆さんが自分の体験と学習・勉強したことをうまく組み合わせ作文にまとめられていることは大変すばらしいことだと思います。

皆さんが一つの作文を作り上げたその努力は皆さんの将来にとって輝かしい思い出となり、実績となるものと信じております。

若い皆さんには、これからの日本の将来を頑張って支えてほしいと審査員一同願っております。

【第7回「介護福祉のみらい」作文コンクール 受賞者】

**高校生の部**

○最優秀賞 作品名「こころの介護」

おおや ゆい  
大家 結衣さん（東京都立赤羽北桜高等学校 介護福祉科2年）

○優秀賞 作品名「新しい「介護」の一面」

みき はるか  
三木 遥香さん（兵庫県立龍野北高等学校 総合福祉科3年）

○佳作 作品名「ありがとう」

せきざわ はると  
関澤 春人さん（栃木県立真岡北陵高等学校 介護福祉科3年）

○佳作 作品名「介護や福祉に関する実体験等を通して感じたこと・考えたこと」

ささぬま あみ  
笹沼 亜珠さん（栃木県立真岡北陵高等学校 介護福祉科1年）

○佳作 作品名「言葉」

けど まなみ  
毛戸 愛美さん（兵庫県立日高高等学校 福祉科2年）

**中学生の部**

○最優秀賞 作品名「福祉について気づいたこと」

すなかわ りせい  
砂川 琉聖さん（宮古島市立狩俣中学校 1年）

○優秀賞 作品名「介護者と介護を受ける人の幸せのために」

いさ こはる  
伊佐 心晴さん（宮古島市立狩俣中学校 1年）

○佳作 作品名「今の私たちにできること」

ひろた ゆいな  
廣田 結愛さん（館林市立多々良中学校 3年）

以上

〈本件に関するお問い合わせ先〉

一般社団法人 日本介護福祉経営人材教育協会

事務局（担当：山口）

TEL : 03-3553-2896 FAX : 03-3553-2897 Mail:info@nkfk.jp